

## 神奈山・藤巻尾根山スキー

### ～ブナ林パウダーツリーランの魅力～

【山城】 妙高・神奈山藤巻尾根

【日程と天候】 2020年3月15日(日)曇りのち晴れ 滑走開始地点(1520m)で-1℃

【メンバー】 CL坂倉・SL菊池(記)・田形・池田・武田・飯郷(会員外)

【行程】

関温泉休暇村駐車場(駐車は100m程上部の道路右・五最杉駐車場)8:30—林道の橋を渡ってすぐの南尾根に入山—藤巻尾根—1400m 台地—11:40 1520m 滑走開始地点 12:15—台地を滑走—北・北東斜面(尾根)を標高差150m 滑走—登り返し—台地—登路を滑走—藤巻山—東尾根—林道—15:20 休暇村駐車場—帰葉



・今期2回目の妙高・神奈山藤巻尾根に3/15(日)に行ってきた。関スキー場の積雪は数日前の350cmから300cmに大分減少したが、前日の降雪でリセットされ素晴らしいパウダーツアーを堪能できた。小生としては藤巻尾根は今回で6回目、初挑戦の2010年の時は橋を渡ってすぐのところか



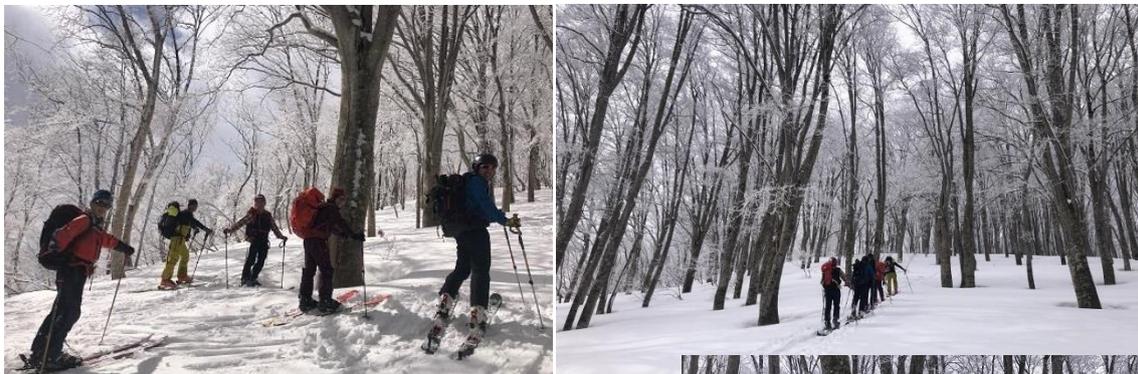
ら入山し、急な南尾根を登ったが、その後は積雪十分な時期に林道をしばらく進み、藤巻山を經由する東尾根を登り上げた方が楽であり昨年まではそのルートばかり選択していた。しかし今年の 1/25、スキー場の積雪が 180 cm の時に藤巻山経由で登ったが激しい藪漕ぎに閉口してしまった。今回は久しぶりに多くの方々が選択する、橋を渡ってすぐの南尾根を入山した。リセットされた登路は気分よさそうとハイテンションでハイクアップを開始した。



急斜面をトラバース気味にシール登行する先行者はクトーなしで苦勞しています。我々はクトー装着で不安感なく頑張れました。最年少の SA 君はクトーなしで頑張ると息巻いていましたが、やはりへろへろの状態最後までなってしまいました。今回クトー初使用の TA さんもクトーの効用を実感し目からうろこ状態でした。細尾根になると積雪不足できわどい箇所や、藪が煩いポイントがあり、やはり今後はこのルートで登るのは高齢者や体力のないメンバーの P では避けた方がよいと実感しました。



- ・スタートしてから約1時間半、標高差 250m 程の頑張りで藤巻山経由のルートと合流、素晴らしいブナ林に癒されて行動食休憩をとりました。合流地点は標高 1020m、クトーを外しここからはブナ林の素晴らしい藤巻尾根をゆったりシール登高して行きます。鍋倉山と同様、いつ来ても素晴らしいブナ林です。硬い下地の上にパウダーが約 10 cm、標高を上げるに従い軽いパウダーとなり、ニンマリです。



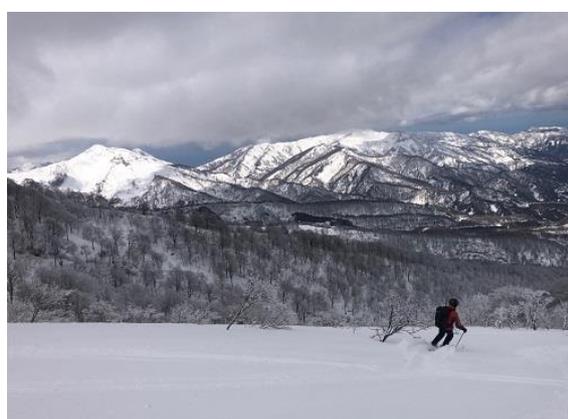
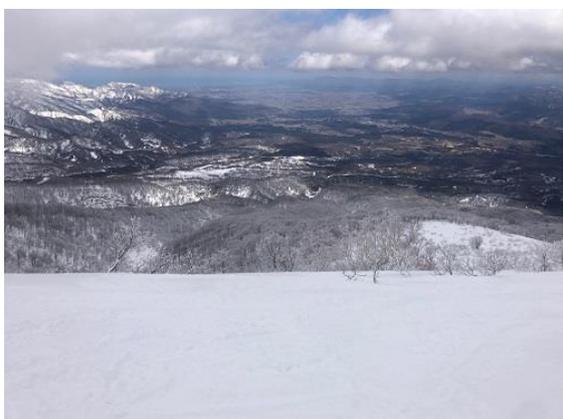
3月中旬ともなると根開けが始まっています。この辺は鍋倉山の山頂に近いエリアに似ています。中斜面と緩斜面が交互に織り交ぜられた広大なブナ林です。何回来ても素晴らしいを連呼しないわけには行きません。



- ・ 1400m 以上の台地、前回はかなり藪が煩いでしたが、今回は快適滑走を約束してくれます。前回と同様の 1520m まで登り上げ滑走開始です。青空が広がってきて野尻湖が俯瞰できます。



この日はシュカブラもなく滑りやすいパウダーが約 10 cm、これから向かう北・北東尾根の向こうに新井の町が見えます。テンションが上がってまいりました。大毛無山方面を左に、素晴らしいパウダーランが始まりました。



標高差約 100mの緩斜面台地の滑走を終えマイシュプールに満足です。このエリア初参加の北海道育ち TA さんも華麗なテレターンを決めています。

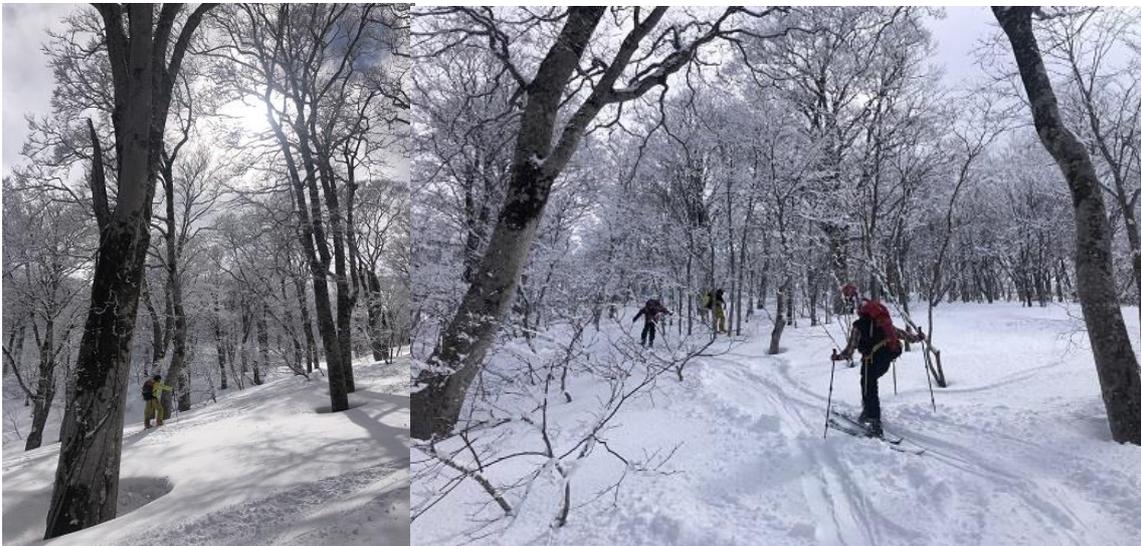
台地からまずは北・北東尾根(斜面)を滑走します。このエリアは入口がやや藪が煩いのですが、間もなく快適な素晴らしいブナ林になります。昨年初めてこのエリアに踏み込みその素晴らしさを体験して



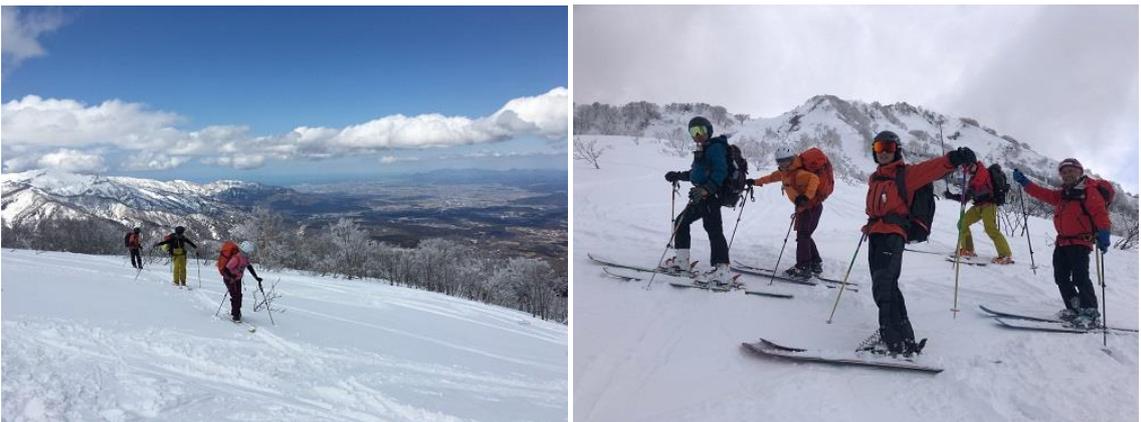
しまったのですが、今回も踏み込みました。他の方々はまず入り込まないため、全くのノートラで良質パウダーをお腹一杯に楽しめます。昨年とはややルート取りが異なりますが、昨年より下部まで標高差 150m 程楽しみました。雄叫び・絶叫入り混じっての陶酔の



世界でした。適度な間隔のブナ林パウダーツリーランは最高っすね!!! IK君もノートラパウダーの世界に引き込まれていきます。このエリアはブナの巨木が目立ちます。満足のツリーラン後の登り返し、素晴らしいブナ林に癒されながら、あまり苦になりません。登り返しもあとわずかです。

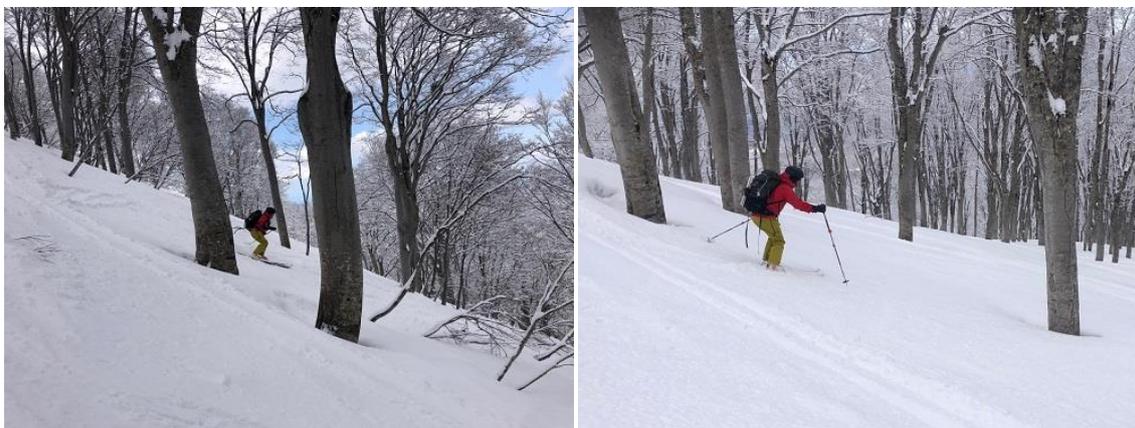


1400m 台地に登り返す頃には青空がますます広がり、振り返ると直江津港の向こうに日本海まで見えます。シールを剥いで滑走準備完了、会心のパウダーツリーランを堪能した

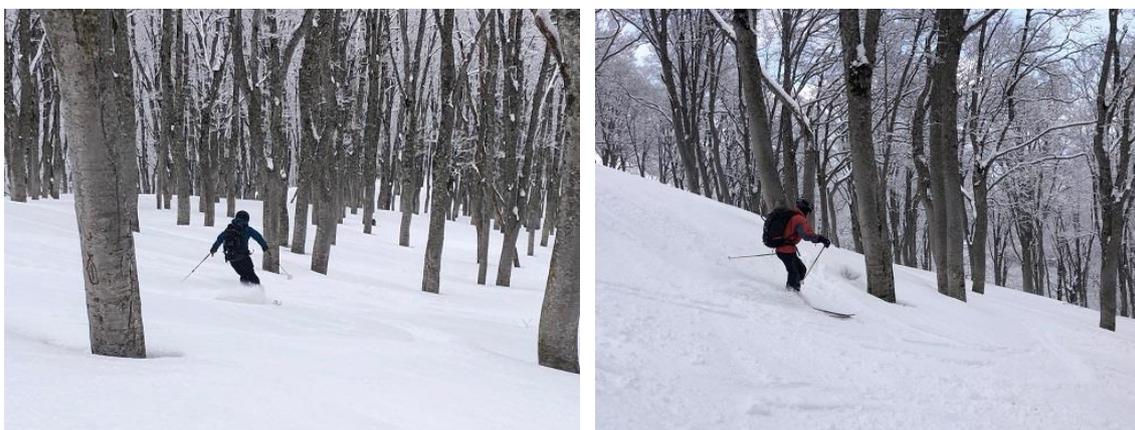


面々は余裕の笑顔で記念撮影です。

- 登路の滑走は先行シュプールで少し荒れていますが、雪質は温存されており気持ち良く滑走できます。広大なブナ林、皆さんノトララインを選んで思い思いにシュプールを刻みます。



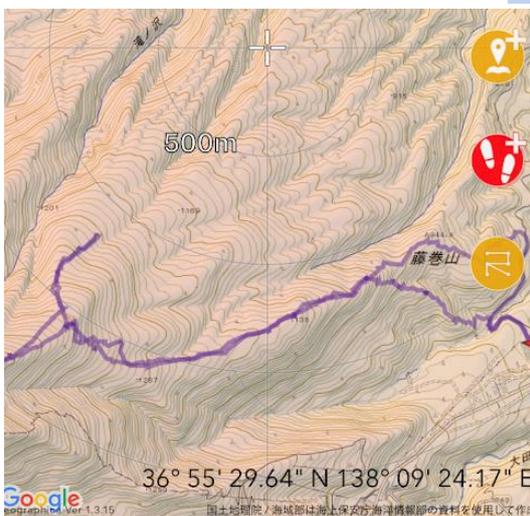
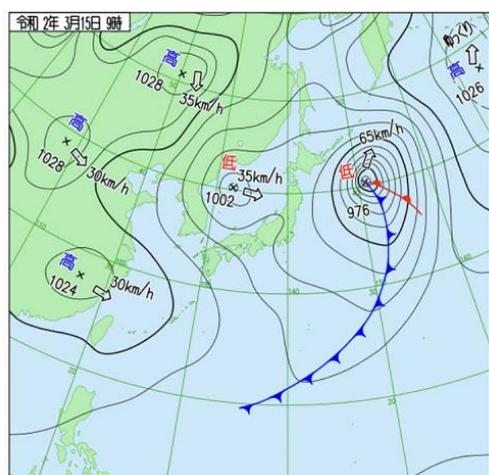
IK 君も華麗にアルペンターンを決めています。TA さんは参加する度に快適パウダーランをゲットしておりをご満悦です。



徐々にやや重パウダーに移行しますが、テレターンは楽しめました。



藤巻山経由の下山滑走は前回より藪が埋まっており、何とか滑走できますが、湿悪雪になってきて横滑りなどを駆使しながら慎重に下りました。最後の林道に降り立つエリアは修行のポイントでしたが、大満足のラスト(?)パウダーツアーでした。



### 20200315 藤巻尾根

距離	9.4km
記録時間	07:10:06
最低高度	777m
最高高度	1,535m
累計高度(+)	1,195m
累計高度(-)	1,204m
平均速度	1.3km/h
最高速度	31km/h
消費カロリー	2414kcal
座標精度	★★★★★
接続率	100.0%

